

授業科目	疾病治療論 2	2 学年・後期・1 単位 (30 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	水口 徹 (保健医療学研究棟 E314 号) e-mail : tmizu@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(原田 敬介)、(巽 博臣)、(澤田 敦史)、(三上 毅)、(川原田 修義)、(宮島 正博)、(高野 賢一)、(杉村 政樹)、(西田 幸代)、(四ッ柳 高敏)、(九富 五郎)		
概要	疾病治療論 2 は、外科的治療に必要な医学的基礎知識を身につけることを目的とする。総論では外科的治療の基本概念となる手術侵襲と代謝・栄養などを学び、各論では消化器疾患、内分泌疾患、乳腺疾患、循環器疾患、小児疾患、脳神経疾患、婦人科疾患、泌尿器科疾患、耳鼻科疾患の中から代表的な外科的疾患の概念とその治療方法について学ぶ。専門的講師陣により手術適応、術後病態と看護要点、合併症と対策などを学び、実地臨床に必要な基礎力を養う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外科的治療を必要とする患者さんから必要な情報を聞き取ることができる。 2. 代表的な外科的疾患について説明することができる。 3. 術後の合併症について述べるることができる。 4. 術後の病態に応じた退院指導ができる。 5. 過去の国家試験問題に対する 70%以上の正答を得ることが出来る。 		
関連科目	病理学、生理学、解剖学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	定期試験	90%	評価は試験(90%)と小テスト(10%)によって行い、相対点として60%以上を合格点とする。
	小テスト	10%	
教科書	指定なし		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> ① 畠山勝義(監修) 北野正剛/田邊 稔/池田徳彦(編) [最新版] 「標準外科学 第14版」 医学書院 ② 浅野嘉延/吉山直樹 編 [最新版] 「看護のための臨床病態学」 南山堂 ③ 医療情報科学研究所(編) [最新版] 「病気がみえる vol.1 消化器(第5版)」 MEDIC MEDIA ④ 岡本豊 編 [最新版] 「看護師・看護学生のためのレビューブック」 MEDIC MEDIA 		
履修上の留意点	教科書・参考書はあると望ましい。「病気がみえる vol.1 消化器(第5版)」MEDIC MEDIA は将来にわたって使える。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	医療基礎(手術侵襲、腫瘍、外傷、外科の基本手技)	事前：指定参考書にて予習する。	講義	水口
2	救急実践(救急処置法、人工呼吸器・トリアージ・DCS)	事前：指定参考書にて予習する。	〃	(原田)
3	集中治療(静脈栄養・経腸栄養・血液浄化)	事前：指定参考書にて予習する。	〃	(巽)
4	麻酔法 (全身麻酔、術前管理・術後管理)	事前：指定参考書にて予習する。	〃	(澤田)
5	心臓疾患、血管疾患	事前：指定参考書にて予習する。	〃	(川原田)
6	呼吸器疾患	事前：指定参考書にて予習する。	〃	(宮島)
7	消化管疾患(上部・下部)	事前：指定参考書にて予習する。	〃	水口

8	肝胆膵疾患(肝臓・胆嚢・膵臓)	事前：指定参考書にて予習する。	〃	〃
9	脳神経疾患(疫学・診断・治療・予後)	事前：指定参考書にて予習する。	〃	(三上)
10	耳・鼻, 咽頭疾患(疫学・診断・治療・予後)	事前：指定参考書にて予習する。	〃	(高野)
11	産婦人科疾患(疫学・診断・治療・予後)	事前：指定参考書にて予習する。	〃	(杉村)
12	泌尿器科疾患(疫学・診断・治療・予後)	事前：指定参考書にて予習する。	〃	(西田)
13	形成外科領域の対象疾患	事前：指定参考書にて予習する。	〃	(四ッ柳)
14	乳腺疾患(疫学・診断・治療・予後)	事前：指定参考書にて予習する。	〃	(九富)
15	外科疾患の総括	事前：指定参考書にて予習する。	〃	水口